

ハンドメイド業界でブームの兆しを見せている、「ミシンレザークラフト」。
 JUKIの職業用ミシン「SL-700EX」を使えば、なんと家でも革が縫えるんです！ そこで上手に縫うコツをJUKI公認講師レザークラフト担当のバンディ先生に

SL-700EXで ミシンレザークラフトを

ハンドメイド業界で
沸騰中！

体験してみた！

取材
撮影
漫画
中村真希子
有馬真子(本社)
いちひるゆき

たっぷり伺いました。
 さらに、職業用ミシン初心者・ライターNがレザークラフトを初体験。
 果たして、そのでか栄えやかに…!?



教えてくれたのは…



須川「バンディ」豊澄先生
 浅草のレザーアイテム工房「Qrinaf」代表。レザーバッグ職人。工房併設のミシン仕立て専門のレザークラフト教室「Bandy's leather craft school」講師も務めている。公式ホームページ：
<https://qrinaf.com>

POINT 3 下糸のテンションがキモ



上糸は「太糸テンション」に回しかけ、下糸を引く力を上げる。最終的な糸調子は、革の厚みなどに合わせて微調整して。

レザークラフトで糸調子を取るコツは、まず下糸のテンションを強くすること。「ボビンケースの糸調子ネジを洋裁時より1/4回転締める。ぶら下げて振っても、落ちてこないくらいが◎」

POINT 4 おすすめの押えはこれ！

1 レザークラフトで先生イチオシの押えが、段付き押え「SR」シリーズ。「2mmと7mmのガイド付きを愛用中です。きわの部分もマグネット定期が使えない真ん中も、まっすぐ縫えます」



バンディ先生直伝！
 ミシンレザークラフトを成功させる

POINT 4つ



2 「SL-700EX付属のスムース押え(厚物用)も便利です」。フッ素樹脂加工で、滑りの悪い本革などもスムーズに縫える。

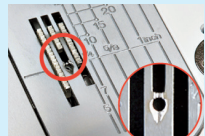
POINT 1 針と糸の組み合わせに注意！



糸はポリエステル製のテロン糸、針は工業用の針DB×1(丸針)を使用。

「SL-700EXでレザークラフトをするなら18番の針と、20番か30番の糸の組み合わせが最適。太い針で革に太い穴をあけると摩擦が少なくなり、下糸を引っ張り上げやすくなるんです」

POINT 2 厚物用の針板を使う！



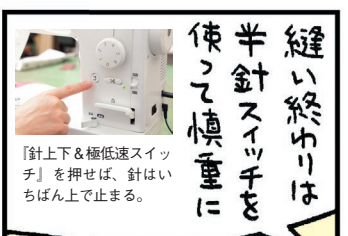
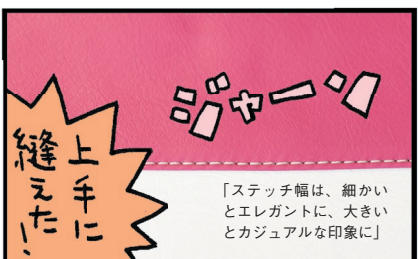
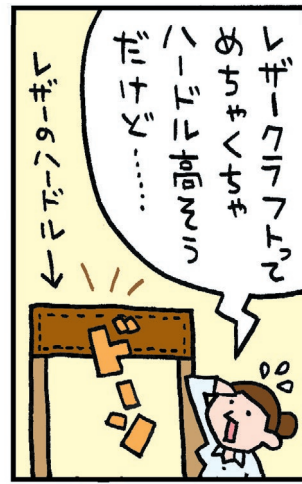
厚物用は、太い糸もスムーズに引き出せるよう、針穴が大きく溝もある。

「レザークラフトで使うのは、洋裁では考えられないような太い糸。そのため薄物用の針板では、針穴が小さすぎる。下糸が引っ張り出しづらくなり、それが目飛びの原因になるんですよ」

「最初に、職業用ミシンで革を縫える。と聞いたときは、半信半疑だったというバンディ先生。「ところが本当にきれいに縫えてびっくり。SL-700EXは、針を刺す力・下糸を引っ張る力・革を送る力のバランスが秀逸。それが、美しいステッチを生む秘訣だと思います」
 ただ、作品をきれいに仕上げるには、知っておくべきコツも。」

「たとえば目飛び・糸調子問題はミシンを革を縫うセッティングにするとは解決します」
 左には、その詳しい説明が。
 「SL-700EXは、僕の経験だと最高5mm厚(クロムなめし革)もきれいに縫えるパワーがある。コツを押さえれば初心者も大丈夫。多くの方に、家で革が縫える喜び、レザーを使った作品のスペシャル感を味わってほしいですね」

分厚い革の重なりも、スイスイと縫えた



Message from BANDY

「SL-700EXは、布はもちろんレザーも本当にきれいに縫える。JUKIさんも僕も、SNSなどでレザークラフトのお役立ち情報をどんどん発信していくので、ぜひ恐れずに挑戦してほしいです！」

SL-700EX

主な機能など

- 太糸テンション ●フロート機能 ●サブテンション ●スピードコントロールつまみ ●自動糸切り機能 ●LEDランプ光量調節スイッチ ●針上下 & 極低速スイッチ ●糸切りフットスイッチ付きコントローラー (横スイッチ左右可変) ●ひざ上げレバー

革など、厚物縫いに便利な機能が満載の職業用ミシン

工業用ミシンの技術を取り入れた、職業用ミシンの最高機種。厚物を縫うための機能が充実している。レザークラフトで役立つ太糸テンションや、厚物用針板、厚物用スムーズ押えも付属。

価格：203500円(税込み)
サイズ：幅452×高さ350×奥行219mm
質量：11.9kg